

(様式2(1))

## 目標達成計画

事業所名 フレール離宮西町

令和2年6月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合せた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
1	26 (13)	・モニタリングの評価と計画見直しの運動性を明確にすることが望まれます。計画の見直し時に聴き取った利用者・家族の意向も、議事録に記録してはどうか。現在、システムを導入しデータ管理への移行に取り組まれている。データ管理のメリットを、記録の効率化・計画に基づいたサービス実施の記録等に活かされることを期待します。	・モニタリングの評価と計画見直しの運動性を明確にする様努める。「サービス担当者会議の要点」の会議録の中に、利用者・家族の意向も記録として残す様努める。	・今後は、入居者のADLをタブレットに入力することとしているのでデータをもとに的確に「継続」「終了」と表記し、計画見直しの運動性を明確にしていく。「サービス担当者会議の要点」の議事録に利用者・家族の意向も併せて記載していく。	3ヶ月
2	23 (12)	・「データベース」を追記・更新する等、利用者個々の生活歴・生活習慣・暮らし方の希望など、利用者像を職員間で共有し個別支援に活かせる書式の工夫が望まれます。	・半年または一年毎に、利用者から生活に対する希望を聞き取り、「データベース」を追記・更新する様努める。	・半年または一年毎にタブレットに入力したデータを参考にしながら「データベース」を見直すこととし、職員会議、申し送り等で情報を共有し個別支援に活かしていく。「毎月のまとめ」はケアプランに沿った形で記入する。	6ヶ月
3	11 (10)	・定期的なフレール職員会議・個別面談等、職員の意見・提案を定期的に把握し運営に反映する機会作りを期待します。	・定期的なフレール職員会議の開催が出来るように努める。また、職員個々の意見や提案を聞き取り、記録として残し職員全員が共有できる様努める。	・勤務の都合で全員参加の定期的な職員会議の開催は難しいことから、職責者出勤時に当日出勤職員と職員会議を開催。出席できなかった職員には議事録を作成し情報の共有に努める。また、申し送り等で出た職員の意見や提案も記録し、入居者が安心した施設生活が送れるようにする。	6ヶ月
4	35 (17)	・夜間想定の実施も実施し、夜間専従職員も含め、昼夜の避難誘導方法を全職員に周知すること、また、訓練の実施報告書に評価・改善策なども記録し、全職員が情報共有することが望まれます。	夜間想定の実施も実施し、夜間専従職員、職員全員が災害時のスムーズな避難誘導が行えるように努めるとともに実施の記録を作り、情報の共有も行える様努める。	・夜間専従職員が避難訓練に参加することは難しいが、実施した避難訓練の情報を記録として残し情報を共有する。夜間専従職員を含めて全員がスムーズな避難誘導が行えるようにする。	12ヶ月
5	8 (7)	・研修や資料回覧等により、職員が権利擁護に関する制度について、一定の知識と理解を得る機会作りが望まれます。また、必要研修項目については、年間研修計画を作成して実施してはどうか。	・職員が権利擁護に関する制度について知識と理解が得られる機会を作る様努める。	・権利擁護に関する制度についての情報を収集し、勉強会等を行い共通の理解を深めると共に、外部研修でテーマに沿った内容の研修があれば積極的に参加していく。	12ヶ月

(様式2(1))

事業所名 フレール離宮西町

目標達成計画

令和2年6月20日

目標達成計画は、自己評価及び外部評価結果をもとに職員一同で次のステップへ向けて取り組む目標について話し合います。

目標が一つも無かったり、逆に目標をたくさん掲げすぎて課題が焦点化できなくならないよう、事業所の現在のレベルに合せた目標水準を考えながら、優先して取り組む具体的な計画を記入します。

【目標達成計画】					
優先順位	項目番号	現状における問題点、課題	目標	目標達成に向けた具体的な取り組み内容	目標達成に要する期間
6	2 (2)	・今後も、利用者の地域行事への参加・地域資源の活用など、利用者が地域とつながりながら暮らし続けられるよう取組まれることを期待します。	・地域の行事参加や隣接する小中学校生徒との交流会、地域のボランティア活動の受入れ等を実施していく。	・ボランティアや家族の付添い等の協力を求め安全を確保するとともに、入居者の体調面に配慮しながら参加していく。	12ヶ月
7	49 (22)	・日常的な外出・季節感のある外出等、利用者の希望に沿って外出の機会が増えることを期待します。	・入居者のADLに配慮しながら定期的な外出が行える様努める。	・入居者の高齢化に伴うADLの低下の為、外出の機会が減っている現状ではあるが、家族面会時やボランティアの受け入れの際には地域行事への参加、散歩等を企画し実施していく。	12ヶ月

注) 項目の欄については、自己評価項目のNo. を記入して下さい。項目数が足りない場合は、行を挿入して下さい。